

「シンポジウム」

二〇一四年三月八日（土） 十七時～十九時
広島市まちづくり市民交流プラザ北棟六階
入場無料 定員一二二名（先着順）

都市のなかの 復興モダニズム 前川國男をめぐるって

主催：一般社団法人 日本建築学会 中国支部 歴史意匠委員会
後援：公益社団法人 日本建築家協会 中国支部

公益社団法人 日本都市計画学会 中国四国支部

開場十六時半

マルチメディアスタジオ



岡山県庁舎

山陽新聞社提供

都市のなかの「復興モダニズム」：前川國男をめぐる

地方都市には、第二次世界大戦後の民主主義を空間的に実現しようと試みた「復興モダニズム」の建築の特質を示す作品がいくつか現存する。その再評価は、今後の持続可能な社会の形成の上でも、また「復興」の意味を新たに捉え直す上でも重要な意味を持つであろう。

「復興モダニズム」は、今日求められている下からの自発的な「小さな公共性」とは対極にある、上からの戦略的な「大きな公共性」の理念であるかもしれない。しかし、本当に「上からのまなざし」なのであろうか。これからの社会で不可避に問われるであろう「公共性」を多角的に見通せば、そこに多くのヒントが隠されていることがわかる。それは、都市という時間の生成において、「復興モダニズム」を相対化することに他ならない。

本シンポジウムでは、前年度の「山陰モダニズム - 菊竹清訓の作品を中心に -」（日本建築学会建築文化週間2012）を受け、岡山県庁舎（1957）をはじめ中国地方にも重要な建築作品を残した前川國男（1905～1986）を通して、様々な世代の価値観を交叉させることによって、「復興モダニズム」を都市の時間の流れのなかで浮き彫りにしてみたい。

2014年3月8日（土）17時～19時（16時半開場）
広島市まちづくり市民交流プラザ北棟6階マルチメディアスタジオ
入場無料 定員112名（先着順）



広島市中区袋町6番36号
☎ 082-545-3911

駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。なお身障者用駐車場のみ3台分用意しています。自転車・バイクは、地下の公共駐輪場（有料、入口北西側）をご利用ください。

市内電車：「袋町」電停から徒歩3分／「紙屋町東電停」から徒歩6分
バス：「袋町」バス停（広島・広島バス）から徒歩約3分／「放送会館前」バス停（広島バス）から徒歩6分
アストラムライン：「本通駅」から徒歩5分
「広島バスセンター」から徒歩9分

プログラム

- 17:00～17:10 趣旨説明
千代章一郎（広島大学大学院准教授）
- 17:15～18:00 基調講演
橋本 功（前川建築設計事務所代表取締役）
- （休憩）
- 18:10～19:00 パネルディスカッション
パネリスト 橋本 功（同上）
石田潤一郎（京都工芸繊維大学大学院教授）
初田 香成（東京大学大学院助教）
コーディネーター 千代章一郎（同上）

橋本功（はしもと いさお）

1945年神奈川県生まれ。1970年日本大学理工学部建築学科卒業後、(株)前川國男建築設計事務所入所。1994年(株)前川建築設計事務所取締役。2000年代表取締役に就任、現在に至る。主な仕事は、横浜市教育文化センター（1972年）、福岡市美術館（1979年）、埼玉県立自然史博物館（1981年）、国立音楽大学講堂（1983年）、国立音楽大学付属幼稚園（1984年）、千葉県東総文化会館（1991年）、埼玉県児玉町総合文化会館（1995年）、国立音楽大学附属中・高等学校増築（1995年）、国立音楽大学附属小学校（2008年）。この間、数々のコンペや埼玉会館大ホール（1996年）、熊本県立劇場（1996年）、神奈川県青少年センター（2006年）などの改修を担当。

石田潤一郎（いしだ じゅんいちろう）

1952年鹿児島市生まれ。京都工芸繊維大学大学院建築造形学部門教授。専門は日本近代建築史。著書『都道府県庁舎——その建築史的考察』（思文閣出版、1993年）では、明治維新以降、現代にいたるまでの庁舎建築の変容過程を社会的要因も含め、分析した。また『関西の近代建築』（中央公論美術出版、1996年）、『湖国のモダン建築』（京都新聞社、2009年、共著）などでは、関西の建築家と建築作品について、その歴史的位置を考察した。最近では都市史にも関心を広げている。2000年に第4回建築史学会賞、2003年に日本建築学会賞（論文）受賞。

初田香成（はつた こうせい）

1977年東京都生まれ。東京大学大学院工学系研究科建築学専攻助教。専門は都市史・建築史。戦後から1960年代にかけての戦災復興、不燃化運動、都市再開発における多様な主体の関与を実証的に考察、戦後都市の現在の意味を問い続けている。主な著書に『都市の戦後—雑踏のなかの都市計画と建築』（東京大学出版会）、共編著に『盛り場はヤミ市から生まれた』（青弓社）、『都市計画家・石川栄耀都市探求の軌跡』（鹿島出版会）ほか。

千代章一郎（せんだい しょういちろう）

1968年京都府生まれ。広島大学大学院工学研究院社会環境空間部門准教授。建築歴史・意匠学の視点から、こども環境、建築景観、都市空間を通して感性論を研究。主な著書に『都市の風土学』（共著、ミネルヴァ書房、2009年）、『ル・コルビュジェの宗教建築と「建築的景観」の生成』（単著、中央公論美術出版、2004年）、『感性のフィールド』（共編、東信堂、2012）ほか。